

## クラウド環境の「見える化」に対応した クラウドサービスプラットフォーム「Cosminexus」の最新版を発売

複雑なクラウドシステムの構築や改修を迅速かつ効率的に支援

株式会社日立製作所(執行役社長 中西 宏明/以下、日立)は、このたび、クラウド環境における各種システム状況の「見える化」に対応したクラウドサービスプラットフォーム「Cosminexus」の最新版を2月29日から販売開始します。

今回発売する「Cosminexus Version 9」では、システムの構成情報やITリソースの配置状況などを、「Cosminexus」が備えるテンプレート上で管理、「見える化」することでクラウド環境でのシステム構築や改修を効率的に行う製品を新たにラインアップしています。また、昨今ニーズが高まっているビッグデータを高速かつ高信頼に処理する新製品、および「Cosminexus」の導入評価や検証のための環境構築を支援する関連サービスや、クラウド事業者向け月割従量制ライセンスもあわせて提供し、クラウドやビッグデータの利活用を多角的に支援します。

進展するクラウドにおいては年々システムの複雑化がすすみ、仮想化による多数の業務サービスの複雑な連携関係やITリソースの配置状況など、システムの状況を「見える化」してシステム構築・改修を迅速に行うことが、クラウドを最適に活用する上での課題となっています。日立はこれまで、日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」のシステム構築基盤を担う「Cosminexus」でクラウド時代の迅速・確実なシステム構築の実現に寄与してきました。今回は、複雑なクラウド環境を「見える化」するニーズに対応した「Cosminexus Version 9」の販売、提供を開始します。

### ■「Cosminexus Version 9」の主な特長

#### 1. クラウド環境でのシステム状況を「見える化」し、効率的なシステム構築・改修を実現する新製品「uCosminexus Service Director」

今回新たにラインアップした PaaS 環境管理製品「uCosminexus Service Director」では、クラウド(PaaS)環境でのシステム構成情報や仮想サーバへのシステムリソースの割り当て状況などを、あらかじめ用意されている用途別テンプレート上で管理できるため、システム構築およびアプリケーション改修作業において把握すべきシステム状況を的確に「見える化」します。また、テンプレートを基に仮想サーバの一括構築が可能のため、効率的なシステム構築・改修を実現します。

これにより、システム改修時における影響範囲が明確になり、改修のための手順や予算などの工数見積りも容易になるほか、ITリソースの配置や構成面での過不足や配置バランスの良し悪しなども把握でき、ITリソース配置の最適化が図れます。なお、本製品では、テンプレートをベースとした仮想サーバの構築作業において、従来比で最大約70%(当社試算値)の効率化を実現しています。

## 2. ビッグデータの高速処理機能を提供する新製品「uCosminexus Elastic Application Data store」

クラウドと共に高まるビッグデータ活用へのニーズに対応し、インメモリ型データグリッド製品の「uCosminexus Elastic Application Data store」を今回新たにラインアップしました。本製品では、データを複数のサーバのメモリ上で分散処理することで、高速かつ高信頼なデータ処理を行います。これにより、アクセス量の多いデータ処理でのサービスレスポンスなどの性能向上が図れるほか、データの分散・多重化によりシステムのSPOF<sup>\*1</sup>を排除して処理の継続性を確保しています。

さらに、複数サーバにまたがる処理の履歴を関連づけて取得する障害解析トレースなど、日立独自の機能も備えたことで、複雑なシステム構成においても容易な障害解析を可能としています。

\*1 Single-Point of-Failure: システム上の特定のコンポーネントの異常発生により、そのシステム全体が障害に陥ってしまうようなシステム信頼性上ネックとなるコンポーネント。

このほか、「uCosminexus Application Server」におけるアプリケーション実行トレース機能の強化により、OSS フレームワーク開発環境での問題箇所の特特定がさらに容易になったほか、SOA 基盤製品「uCosminexus Service Platform」においても、システム間連携の構成の「見える化」や、運用段階における業務利用状況の「見える化」を実現しています。

## 3. 関連サービスおよび従量制ライセンスの提供

今回の最新版とあわせて、「Cosminexus」の導入評価や検証のための環境構築を支援する「ミドルウェア評価環境サービス」も新たに提供開始します。本サービスではアプリケーションサーバ、データベースサーバを搭載した導入評価・検証用マシンを無償で貸し出し(30 日間)、短期間での環境構築を支援し円滑な製品導入を図ります。また、今回の最新版ではクラウド事業者向けの月割従量制ライセンスも提供しており、初期投資を抑えた迅速な製品導入が可能です。

なお、今後は、日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」のオンデマンドサーバサービス<sup>\*2</sup>において、ユーザー自身が必要な IT リソースを選択して利用できるセルフサービスポータル環境から「Cosminexus Version 9」をはじめとした関連ミドルウェアを利用可能とする計画です。

\*2 サーバ/ストレージ/ネットワーク/OS/ミドルウェアなどのITリソースを、インターネットやVPNを通じて月額で提供するサービス。

■なお、今回の最新版発売に関し、パートナー企業各社から以下のコメントを頂いています。

### 株式会社インテック SI 事業本部 社会・サービスソリューション部長 堀内 健司氏

インテックはこのたびの日立の「Cosminexus」の新バージョン発売を心より歓迎します。当社としては、国産であるという強みを持つ「Cosminexus」の新バージョンを活用することで、関連ビジネスの更なる拡大と、お客さまのビジネス価値向上実現を期待しています。新規構築案件をはじめ、今後ますます拡大するクラウド環境においても、お客さまのシステムの強化、業務の効率化を促進できるソリューションをご提供できるものと確信しております。

**株式会社エヌ・ティ・ティ・データ 技術開発本部 ソフトウェア工学推進センタ センタ長 富安 寛氏**

NTTデータは日立の「Cosminexus」新バージョン発売を歓迎します。弊社は2007年から、開発手順・開発・サポートを一体としたシステム開発のトータルソリューション「TERASOLUNA(テラソルナ)」を提供しており、AP サーバの1つとして「Cosminexus」を採用しています。日立とは「Cosminexus」を適用したシステム設計や環境構築ノウハウの共有・活用など様々な面で連携してきました。

このたびの新バージョン発売で、クラウド環境におけるアプリケーション開発を更に迅速・効率化する製品強化が図られたこと、また従量制ライセンスが新たに提供されることにより、お客さまのビジネス機会のさらなる拡大に寄与するソリューションを提供できるものと確信しています。

**JFEシステムズ株式会社 取締役 常務執行役員 食品ソリューション事業部長 野村 信三氏**

JFEシステムズは、このたびの日立の「Cosminexus」の新バージョン発売を心より歓迎します。食品製造業を中心に100社以上の利用実績をもつ弊社品質情報管理システムの「Mercurius(メルクリウス)」と、信頼性や連携性に強みを持つ「Cosminexus」が連携することで、お客さまのビジネスの根幹を支えるソリューションをご提供できるものと確信しております。また、「Cosminexus」の新バージョンにおけるクラウド環境での従量制ライセンスは、当社の今後のサービス提供事業に必ず貢献いただけるものであると期待しています。

**株式会社JSOL ITコンサルティング統括部長 土居 智氏**

このたびは「Cosminexus」新バージョンのご発売、誠にありがとうございます。JSOL も心より歓迎いたします。弊社は IT コンサルティングからシステム構築、運用まで一貫したサービスを提供しており、これまでも日立ミドルウェアを活用してまいりました。「Cosminexus」新バージョンのクラウド環境下における「見える化」は、これまでの“クラウド”の常識の枠を超え、お客さまのビジネス強化や新しいビジネスモデルの基盤として、我々の提案活動の武器になるものと大いに期待しております。

**日本電子計算株式会社 BIS統括本部 ITサービス本部 本部長 澤 則夫 氏**

日本電子計算はこのたびの日立「Cosminexus」の新バージョン発売を歓迎します。当社は長年にわたり、「Cosminexus」をはじめとする日立ミドルウェア製品をさまざまなシステム開発において適用してまいりました。今回の「Cosminexus」の新バージョンにおけるクラウド環境対応強化と従量制ライセンスは、クラウド市場におけるサービス提供事業の拡大に貢献するものであると期待しています。

なお、「Cosminexus」は機能、性能、信頼性や技術支援などに対する取り組みが評価され、「日経コンピュータ 第14回 パートナー満足度調査Webアプリケーションサーバー部門 1位」<sup>(\*)</sup>に選ばれました。今回の評価もふまえパートナー企業への支援も継続して注力していきます。

\*3 日経コンピュータ 2012年2月2日号掲載。

■ 価格および出荷・提供開始時期

製品・サービス名	概要	価格	出荷・提供開始時期
uCosminexus Service Director	PaaS 環境でのシステム状況管理と構築改修を行う新製品	525,000 円～ (税抜: 500,000 円～)	5 月 31 日
uCosminexus Elastic Application Data store	高速データ処理を行うインメモリ型データグリッド新製品	1,155,000 円～ (税抜: 1,100,000 円～)	3 月 15 日
uCosminexus Service Platform	ビジネスプロセス管理と柔軟なサービス連携機能を備えた SOA 実行基盤製品	4,410,000 円～ (税抜: 4,200,000 円～)	
uCosminexus Application Server	仮想環境での構築・運用を強化するアプリケーションサーバ製品	1,260,000 円～ (税抜: 1,200,000 円～)	
ミドルウェア評価環境サービス	「Cosminexus」の導入評価や検証のための環境構築支援サービス	無償(30 日間)	2 月 29 日

■ 「Cosminexus」製品ホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/cosminexus/>

■ 他社所有商標に関する表示

記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

■ 本件についてのお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 ソフトウェア事業部 戦略企画部 [担当: 高橋]

〒244-8555 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 5030 番地

電話: 045-862-8598 (ダイヤルイン)

日立オープンミドルウェアお問い合わせホームページ:

<http://www.hitachi.co.jp/soft/ask/>

以上

添付別紙

「Cosminexus Version 9」サービス状況モニター画面の例

The screenshot displays the Cosminexus SOA Monitor interface. At the top, the title "Cosminexus SOA Monitor" is visible along with a user ID "user1" and buttons for "更新" (Refresh) and "ログアウト" (Logout). The interface is divided into several panels:

- 表示条件 (Display Conditions):** A sidebar on the left titled "対象BP" (Target BP) with a tree view showing "ビジネスプロセス一覧" (Business Process List) and three checked items: "BP\_Proto150", "BP\_Proto075", and "BP\_Proto".
- 実行履歴 (Execution History):** A main panel containing two tables. The top table, "履歴一覧" (History List), shows a summary of process executions with columns for BP name, status, execution time, start/end times, and version. The bottom table, "履歴詳細" (History Detail), provides a granular view of individual steps with columns for step number, activity name, type, status, and timing. The process ID is "プロセスインスタンスID: J2EEServer\_010209012053\_BP\_Proto\_1329377989563\_7640580041\_96".
- 速報値棒図 (Alert Value Bar Chart):** A panel showing a table of CTMADP (Current Total Message Arrival Delay) values for the three BP types: BP\_Proto (17), BP\_Proto075 (0), and BP\_Proto150 (0). A "レポート出力" (Report Output) button is located at the bottom.
- 稼働統計 (Operational Statistics):** A panel featuring a line graph titled "レスポンスタイム(ms)" (Response Time in ms) for the period from 12/2/15 to 12/2/21. The graph tracks three metrics: "上りMSG変換" (Upward Message Conversion) in blue, "下りMSG変換" (Downward Message Conversion) in pink, and "ホスト呼び出し" (Host Call) in green. The y-axis ranges from 0 to 600 ms.

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---